

安否確認サービス開始

東日本大地震 携帯電話やPHS

NTTドコモ

NTTドコモは、東北地方や関東・甲信越地方の携帯電話からメッセージを登録できる「災害用伝言板サービス」の運用を始めたと発表した。メッセージは、全国で確認できる。パソコンでも見られる。携帯電話のネット接続サービス「iモード」のトップページから登録する。安否を入力したうえで、100字以内のメッセージを入力できる。入力した情報やメッセージを確認するには携帯電話の「iモード」のトップページやパソコンで、被災した相手の携帯電話番号を入力する。被災者がドコモ以外の携帯電話を利用している場合は、他社の伝言板から情報を検索して表示される。パソコンから閲覧する場合のアドレスは、<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>。

グーグル

インターネットサービス大手のグーグルは安否情報確認サイト「グーグル・パーソン・ファインダー2011日本地震」を設置した。安否情報を登録すると、それを検索できる。人名のほか、メッセージや場所などが登録できる。サイトは(<http://japan.person-finder.appspot.com/?lang=ja>)

KDDI・ソフトバンク・ウィルコム

KDDI (au) とソフトバンクモバイル、PHSのウィルコムは11日、東北地方や関東・甲信越地方の携帯電話・PHSからメッセージを登録できる「災害用伝言板サービス」の運用を始めたと発表した。メッセージの確認は全国からでき、携帯電話やPHS、パソコンで見られる。

各社の携帯電話・PHSのインターネット接続サービスから、安否情報やメッセージを登録できる。入力されたメッセージを確認するには、各社の携帯電話やパソコンで、被災した相手の携帯電話番号を入力する。登録されたメッセージは、被災者がどの携帯会社を利用しているとしても、横断的に検索できる。

NTT東日本

NTT東日本は11日、被災地域の安否確認手段として、「災害用ブロードバンド掲示板」(<https://www.web171.jp/top.php>)を運用している、と発表した。東北エリアの市外局番から始まる電話番号(10桁)を入力することで、伝言の登録や再生を利用できる。災害用伝言ダイヤルについては、立ち上げ準備中だとしている。